

平成18年度、平成19年度及び平成20年度環境対応型高効率ボイラ等導入効果実証事業の平成21年実績

平成18年度368台、平成19年度395台及び平成20年度190台の環境対応型高効率ボイラ等導入効果実証事業の平成21年1月から12月までの実証データを集計した結果、下表のような省エネ及び環境負荷削減効果が得られました。

	平成18年度事業				平成19年度事業			平成20年度事業		
	導入前	導入後実績			導入前	導入後実績		導入前	導入後実績	
		平成19年	平成20年	平成21年		平成20年	平成21年		平成21年	
NO _x 濃度 (ppm)	120	63	63	64	123	62	64	131	65	
ボイラ効率* (%)	87.0	93.5	93.4	93.4	86.3	93.6	93.6	86.2	93.6	
年間稼働時間** (Hr)		1,660	1,660	1,519		1,665	1,519		1,446	平成21年合計
燃料(A重油)削減量 (kL)		5,180	5,053	4,553		5,986	5,146		2,967	12,573
CO ₂ 削減量 (ton)		14,015	13,669	12,325		16,180	13,994		8,030	34,024
NO _x 削減量 (ton)		83.2	84.2	72.0		118.2	98.7		45.9	202
計測台数		379	374	368		397	395		190	

* ボイラ効率は実測した値の平均値

** 年間稼働時間は全負荷ベースで次の計算式で算出した想定年間稼働時間の平均値

想定年間稼働時間 = 年間燃料使用量 ÷ カタログ燃費 (L/h) × (カタログ効率 ÷ 実測効率)